

2025年2月20日

国際交流センター

2024 Pacific Rim-Japan Stage：招聘教員 実績報告

1. 実施概要

2024年9月1日から12月31日にかけて、本学の協定校である ArtCenter College of Design から教員を招聘し、国際交流プログラム「2024 Pacific Rim-Japan Stage」を実施しました。本プログラムは、多摩美術大学と ArtCenter College of Design の学生が協働し、デザインを通じた国際的な課題解決に取り組むものです。

本年度のテーマは「Healing Light - 癒しの光」であり、参加学生たちは光と影の文化的意義や最先端技術を探求しながら、サーカディアンデザインやバイオフィリックデザインを取り入れた革新的なデザイン提案を行いました。

2. 招聘教員

本プログラムの実施にあたり、以下の2名の招聘教員が指導を担当しました。

Herscovitch Penny Rebecca (ArtCenter College of Design 准教授)

Gottlieb Daniel (ArtCenter College of Design 准教授)

3. 招聘教員の主な業務

招聘教員は、以下の業務を担当しました。

- **プログラム内容の策定**
教育カリキュラムを設計し、テーマに沿った研究および制作プロセスを計画。
- **リサーチトリップの帯同 (9月5日～9月14日)**
学生と共に現地調査を行い、視察先での学びを深めるサポート。
- **専門的な少人数制指導 (週2回)**
毎週火曜日と金曜日にチームごとのチュートリアルを実施し、研究・制作の進行を支援。
- **特別レクチャーおよびワークショップの企画・運営**
学内外の専門家と連携し、テーマに関連する特別講義や技術ワークショップを開催。
- **研究発表のキュレーション**
研究テーマ発表会(9月)、中間発表会(10月)、最終発表会(12月)の企画運営を担当。

4. プログラムの流れ

本プログラムは、約3か月にわたり以下のスケジュールで実施されました。

日程	内容	場所
9月3日-4日	キックオフイベント	六本木 TUB
9月5日-14日	リサーチトリップ	浜松、名古屋、美濃、京都、直島 ほか
9月24日	研究テーマ発表会	八王子キャンパス
10月24日	中間発表会	八王子キャンパス
12月4日-5日	最終発表会	八王子キャンパス

リサーチトリップでは、伝統工芸や最先端の照明技術、建築デザインなどを調査し、各地の企業・美術館を訪問。帰京後は研究テーマを決定し、発表・検討を重ねてプロジェクトを進めました。

5. 少人数制チュートリアル

招聘教員による少人数制チュートリアル（毎週火・金）は、学生の研究・制作を支援する重要な指導機会として機能しました。各チームは招聘教員から個別のフィードバックを受け、リサーチの深化、コンセプトの精査、技術的なアプローチの検討を進めました。指導は、進捗報告・ディスカッション・プロトタイピングの実践を軸に構成され、光学技術や照明デザインの専門的知見を活かしたアドバイスが提供されました。また、他チームとの意見交換やプレゼン指導も行われ、学生は研究力・表現力・チームワークを総合的に強化。結果として、「Healing Light」のテーマに沿った多様な作品が生まれ、国際的な視点を取り入れたデザインの質の向上が実現されました。

6. 特別ワークショップ・レクチャー

本プログラムを通じて、様々な特別ワークショップやレクチャーが企画されました。

- 学内ワークショップ

CMTEL（素材技術研究室）、テキスタイルデザインコース、メディア芸術コースと連携し、光を活用した実践的なワークショップを実施。

- 大道名誉教授による日本文化レクチャー（全4回）

ArtCenter College of Design の学生を対象に、日本の歴史・文化・デザイン思想に関する特別講義を行い、プログラムの理解を深める機会を提供。

7. 最終発表会および成果

最終発表会（12月4日-5日）では、9チームが以下のような多彩な成果を発表しました。

- 変化する美しさを表現した照明作品
- 自然光を活かした図書館設計
- 癒しの光を活用したインスタレーション
- 3か月間の活動を記録した映像・展示デザイン（Documentarian チーム）

参加学生からは、「異文化交流を通じて新たな視点が得られた」「自由な表現を経験し、既成概念が解放された」といった声が寄せられ、本プログラムが大きな学びの機会となったことがうかがえます。

8. まとめ

2024 Pacific Rim-Japan Stage は、「Healing Light - 癒しの光」をテーマに、学生たちが国際的な視点を持ち、デザインを通じた社会的課題の解決に挑戦する貴重な機会となりました。

学生たちは、招聘教員の専門的な指導のもと、リサーチから制作、発表までを一貫して経験し、異文化理解を深めながらデザインの可能性を探求しました。本プログラムの成果は、彼らの今後の学びやキャリア形成において大きな影響を与えることは間違いありません。

これまでの Pacific Rim の詳細な記録は、以下の Web ページよりご覧いただけます。

Pacific Rim 特設 Web ページ：https://www2.tamabi.ac.jp/pacific_rim/

2024 Pacific Rim-Japan Stage の様子



Herscovitch 氏と Gottlieb 氏（キックオフ@TUB）



中間発表会の様子



メディア芸術コースの協力による WS



レクチャーをする Herscovitch 氏と Gottlieb 氏



最終発表会場入口で写真撮影をする参加学生たち



最終発表会で作品が売れたチーム



ArtTheque に展示される学生たちの最終成果物



大盛況のプレゼンテーション



フィールドトリップの学びをまとめたスケッチブック